

# おらDoの協Do!

～人と人が集まり、出会いとつながりが  
広がる中で生まれる「おもっせえ」おおつち～

協働による地域・まちづくりを実践し、  
人と人との出会いやつながりを生み出  
している「おもっせえ」人や活動を紹  
介します。みんなやっべし協働!

## 地域でつないだ海岸清掃 緑綬褒章を受章

### 吉里吉里地区教育振興運動推進協議会

昭和43年から50年以上にわたり、  
吉里吉里海岸の清掃奉仕活動などを  
行っている「吉里吉里地区教育振興  
運動推進協議会」が、令和4年秋の  
緑綬褒章を受章し、12月16日(金)、  
褒章伝達式が行われました。

緑綬褒章は、長年にわたり社会に  
奉仕する活動に従事し、顕著な実績  
をあげた団体などに授与されるもの  
です。昭和41年に発足した本協議会  
は、昭和43年から、毎年7月に海岸

の清掃活動を実施。新型コロナウイルスの影  
響により中断期間がありま  
したが、50年以上の間、地域の環  
境美化、環境保全に貢献してきま  
した。また、この協議会は、吉里吉里  
学園中学部が事務局となり、学校、  
PTA、地域住民など、地域に関わ  
る多くの人たちが協力して活動を継  
続しています。



緑綬褒章を伝達された大森勝美会  
長は「きれいな海で思い出を作っ  
てもらいたいと、津波で壊滅的な被害  
を受けても継続してきた。先輩方か  
ら引き継いできた、『自分たちの町  
は自分たちの手で住み良くする。そ  
のために自分たちで考えて行動す  
る』という考えのもと、今後は清掃  
だけでなく、吉里吉里の海の情報発  
信を行うなど、新たな目標に向かっ  
て活動していきたい」と受章の喜び  
と今後の目標を語りました。式には  
歴代の会長や中学生らも参加。環境  
を地域みんなの手で、多世代が一丸  
となって守り続けてきた吉里吉里地  
区の活動を象徴する、にぎやかで笑  
顔あふれる記念撮影となりました。

## 50年後も 100年後も この海のままで

【後列左から】  
芳賀克さん(7年)  
田中心さん(8年)  
寺崎白菜さん(8年)  
【前列左から】  
佐野未侑さん(7年)  
佐藤茜さん(8年)



「自分たちが協力してやってきたことが認められてうれしい。最初に  
始めた人たちも同じように海を守りたいと思っていたと感じる」「海  
水浴やサーモンの養殖など、海をきれいにして地域が盛り上がってほ  
しい。50年でも100年でもこの海のままでいてほしい」「ワカメや  
海産物がたくさんとれる海を守りたい」

中学生たちは先輩方の思いを感じながら、自分たちも楽しんで活動  
に参加していると話してくれました。

